

科目名		担当者氏名	授業形式	単位	開講時期
幼児保育実習		田中功一・松尾瑞穂	実習	2	前期
必修・選択	修了要件	選択			
	資格要件				
学習目標	<p>幼稚園教諭および保育士として、乳幼児に対する適切な保育・教育を行うことができるようになるために、</p> <p>(1) 短期大学での学習をもとに、さらに質の高い保育技術を身につける。</p> <p>(2) 幼稚園や保育所などの現場実習を通じて、保育者の職務に関する理解を深める。</p> <p>(3) 幼稚園や保育所などの現場実習を通じて、保育を創造できる保育観を養う。</p> <p>(4) 学習した保育理論をもとに、子どもとの人間関係を築き、子ども理解を深める。</p>				
授 業 計 画					
回	項 目	授 業 内 容			
1	幼児保育実習の意義と目的	幼児保育実習の概要と意義および心構え 実習の目標設定、実習に関する書類作成			
2	記録の書き方と作成	保育記録のあり方、1日実習を想定した日案・部分実習案の作成			
3	指導の計画と準備	指導案の書き方			
4	保育技術の習熟（1）	模擬保育の実践および発表とディスカッション①			
5	保育技術の習熟（2）	模擬保育の実践および発表とディスカッション②			
6	保育技術の習熟（3）	模擬保育の実践および発表とディスカッション③			
	保育現場実習	<p>幼稚園・保育所での実習（2週間）</p> <p>保育技術の習熟</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児との積極的なかかわり ・ 幼児に対する言葉の使い方、態度 ・ 保育者としての勤務姿勢 (時間厳守・あいさつ・身だしなみ) ・ 指導計画の立案・実施（部分実習・責任実習） 			
7	事後指導	<p>実習の振り返り</p> <p>実習園からの評価をもとにした自らの今後の目標の設定</p>			
参 考 書	<p>前橋 明「保育・教育・施設実習」ふくろう出版、2004</p> <p>谷田貝公昭「保育用語辞典 第2版」一藝社、2007</p>				
学習上の注意（自己学習、学外学習など）	「保育・教育・施設実習」ふくろう出版を、テキストとして使用する。				
評価の方法と時期	授業態度、発表、および、実習園からの評価をもとに、総合的に判断する。				